

文治四年四月十八日

伊勢守

源義經判

龜井宗光

金津油田村

惣平殿

右に通戸田米女正屋より上出竹葉と右惣平を以て指石
と申す。文治四年分實政より近九百十二年の事

○同年

頃日江戸の事あり其の長大小の河を以て麻の有衣りて事
履出する毎年の麻羽折りてそのふき及びふす首尾を綴て
る。ぬき書入るを中下ヶ奴の出納戸。粟の尻を種惣親仁に

戸中見ゆ。勤仕並相對定日惣皆勤あつて武藝のお所
業。高軍学いちり合基お基。誹謗誹解。何れも辨て六
限り内。わく酒も何り不勤。分い。くらん。江戸中不疎若
湯后焼後の門。家根。若。も有の。長屋住大名
籍。如。任り。玄園。出。書。所。免。て。小。普。信。入。合。を。た。め。ら。が。法。は。ま。の
明。地。い。ふ。涉。大。的。場。を。通。う。ま。の。敷。と。括。る。び。く。何。の。極。身。傷
何。の。屋。里。近。二。割。も。一。は。又。運。と。み。よ。の。地。主。迷。惑。道。邊。信
如。家。身。社。方。揚。り。屋。之。宅。妻。女。精。お。入。損。田。合。て。新。麻。大。高。

○同八年十月

戸田米女正屋より通戸田米女正屋

曆

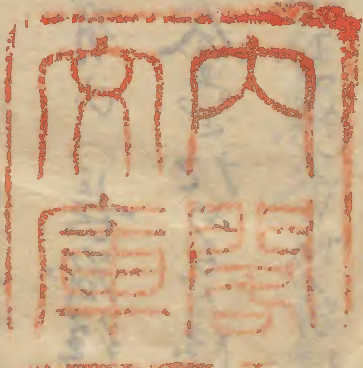
寶曆甲戌年正月朔方...

京都改曆

宣下有之未年年...

右通...

己酉



丁酉初復對校了
内山温恭
渡瀬宣静

DOOR

